

津久井総合事務所周辺 公共施設再整備に向けた市民検討会

第3回 「新しい施設の導入機能を考えよう！」

令和4年11月12日

津久井総合事務所3階 会議室1・2

新型コロナウイルス感染拡大防止へのご協力

- マスクの着用の徹底



- 会場内に用意している消毒液によるこまめな消毒



- ご発言の際にマスクを外さないでください。
- 参加後、3日以内に新型コロナウイルスの陽性となられた場合には、速やかに市にお知らせください。

本日のプログラム

本日のプログラム

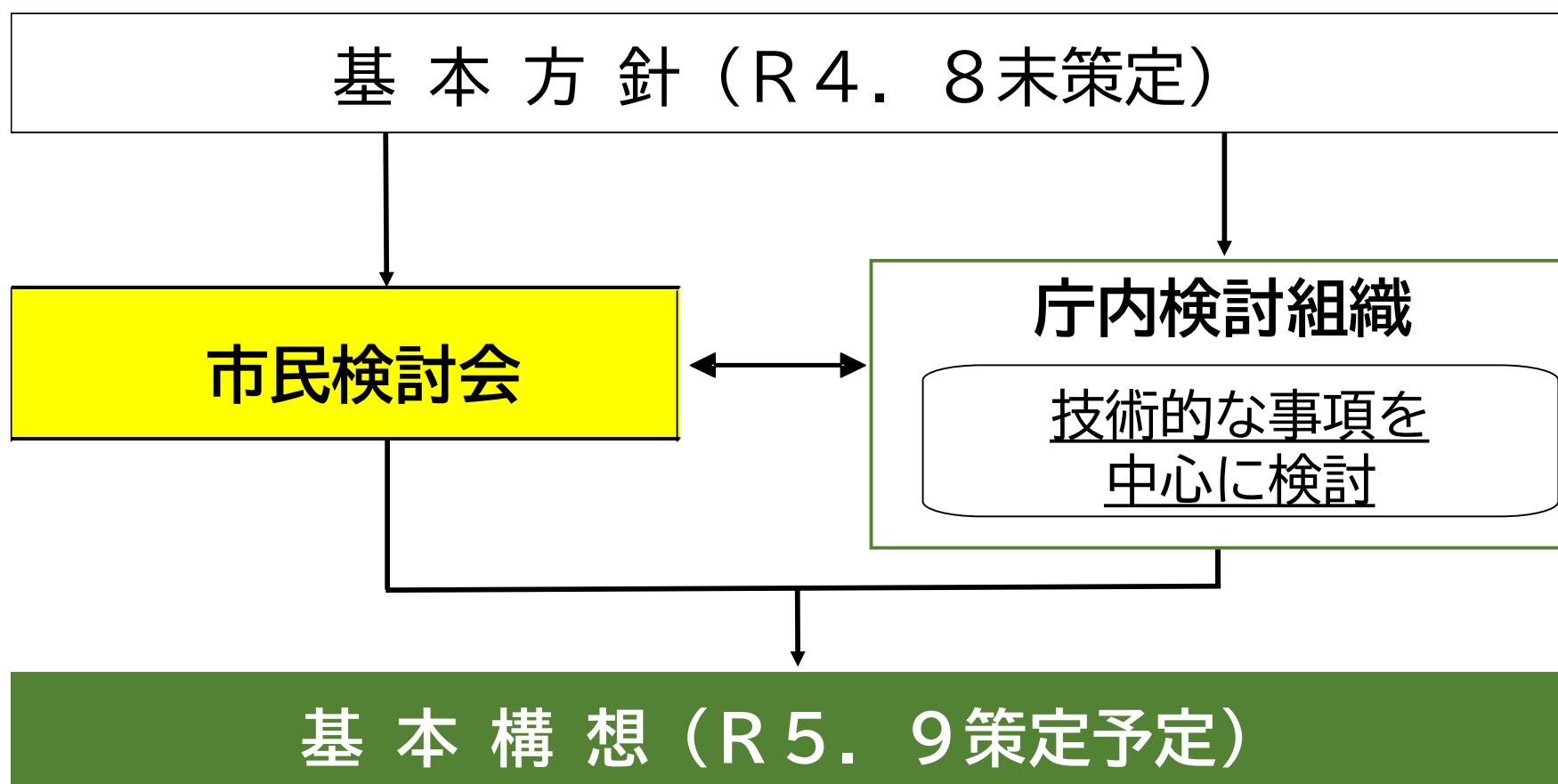
- | | |
|-------------|---|
| 14：00～14：03 | あいさつ ・有識者からのあいさつ |
| 14：03～14：20 | 市からの説明 ・第2回市民検討会の振り返り ・第3回以降の進め方 ・導入機能について |
| 14：20～15：30 | グループワーク（70分） ・新しい施設の導入機能を考えよう！ |
| 15：30～15：40 | 休憩 |
| 15：40～15：55 | 学生からの発表 ・導入機能について |
| 15：55～16：20 | 発表・意見交換 ・グループごとに発表、質疑応答と意見交換 |
| 16：20～16：25 | 第3回市民検討会のまとめ ・有識者からの講評 |
| 16：25～16：30 | 連絡事項 ・次回の内容、事務連絡 |

市からの説明

第2回市民検討会の振り返り

市民検討会の位置付け

- 「津久井総合事務所周辺公共施設再整備基本構想」の策定に向け、有識者、地域団体推薦者、公募市民等で構成する市民検討会を設置し、様々な方のご意見を伺いながら検討していきます。
- 市民検討会では、行政のみの検討では気づけないような様々なアイデアや意見を出していただくため、主にワークショップ形式で行います。
- ワークショップでは、出来る限り制約を設けずに行い、そこで出た意見を踏まえつつ、市として技術的な検証をしながら、少しずつ絞り込みを行っていきます。
- ワークショップでいただいた意見は、すべてをそのまま反映できるものではありませんが、意見やアイデアに込められた視点や思いを大切にしながら、構想（計画）に反映していきます。



第2回「新しい施設の場所を考えよう！」

Aグループ

凡例
 青字：メリット
 赤字：デメリット

| | 現状敷地 | 駐車場 | リハビ-ション | 学校 |
|-------------|--|---|---|--|
| 機能性 | <ul style="list-style-type: none"> 旧道からの道が狭い。 バス通りであり交通が良い。 駐車場があり便利。 整備しやすい。 | <ul style="list-style-type: none"> 近くに歩道がない。 | <ul style="list-style-type: none"> ホールが残る。 コスト低い。 | <ul style="list-style-type: none"> 中学校 <ul style="list-style-type: none"> バス停に近い→交通便利 湖見れる→自然 敷地広い→避難所にもなる イエローゾーンに入っていない→安全 |
| 利用しやすさ・やさしさ | <ul style="list-style-type: none"> バス停から遠い。 他の公共施設が近い、保健センター、総合事務所、公民館が一緒にあるのは利用しやすい。 合同庁舎及び他の施設が近い。 利用しやすい。 | <ul style="list-style-type: none"> すぐに移転できる。 | | <ul style="list-style-type: none"> 中学の敷地が使えるなら、今ここにある事務所などを併合して大きい施設が出来そうだから、出来るなら便利。 小中一貫で学校のスペースが施設に使える。 公共施設がバイパスで分かれな |
| 防災・災害 | <ul style="list-style-type: none"> イエローゾーン。 | <ul style="list-style-type: none"> 避難できる場所が出来るのは◎。 | | <ul style="list-style-type: none"> 小学校も中学校も総合事務所も安全。 小学校校庭がイエローゾーンから外れる、小中を一貫校にする。 新庁舎がイエローゾーンから移転できる。 |
| 自然環境 | | <ul style="list-style-type: none"> 津久井湖が見えない。 | | |
| 交流・賑わい | <ul style="list-style-type: none"> 全体的に暗くて目印がない。 建物の前のスペースが広い。 公民館のホールがあって良い。 | | | <ul style="list-style-type: none"> 広場公園が出来る。 大通りに近い朝市が出来る。 遊び場が出来る。 |

第2回「新しい施設の場所を考えよう！」

Bグループ

凡例
 青字：メリット
 赤字：デメリット

| | 現状敷地 | 駐車場 | 学校 |
|-------------|---|--|---|
| 機能性 | <ul style="list-style-type: none"> • 商店街から入ってくる道が狭い、危険。（車と人、車と車すれ違い） • どの建物も小さく細分化→雨の日の移動が大変。 • 駐車場が狭い。 | <ul style="list-style-type: none"> • 小学校の給食搬入スペースと重なる。 • ハザードマップはクリアするが狭い。 • 駐車場を利用したい人が利用できなくなってしまう可能性がある。 • 角地なので道路からのアクセスがしやすい。 | <ul style="list-style-type: none"> • 中野小は駐車場と合わせると、かなり広いスペースが取れる。 • 中学校の裏は景観が良い。 • 中野小学校・総合事務所を移転するのに良い、但し、中野中と統合する必要あり。 |
| 利用しやすさ・やさしさ | <ul style="list-style-type: none"> • 利用目的がよくわからない。 • 保健センター・総合事務所・公民館・老福センター→まとめて使いやすい。 • パブリックな交通手段であるバスの運行数も多く、停留所が近い。 | <ul style="list-style-type: none"> • 駐車場はそのままにし、中野小に総合事務所を移転した際そのまま利用できる、場所狭いので建物はムリ。 • 体育館みたいな建物があったら良い。 • 多目的に活用している。 | <ul style="list-style-type: none"> • 敷地が広いから色々なことに利用できる。 • 津久井総合事務所、場所は良い。 • 道が狭い。 • 小学校の通学路が狭い。 |
| 防災・災害 | <ul style="list-style-type: none"> • 土砂災害が起きた場合に避難はどうする？ • 津久井総合事務所は建て替え費用がかかる。 • 避難所に（広さ的に）なる。 | <ul style="list-style-type: none"> • 土砂災害区域に入っていないから避難所として使うと小中学校も近かったりするから良いと思う。 | <ul style="list-style-type: none"> • 中野中はハザードマップ上は問題なく広い。広さではここ？ |
| 自然環境 | <ul style="list-style-type: none"> • 外に出ると緑が見えるが、自然景観が活かされていない。 | | |
| 交流・賑わい | <ul style="list-style-type: none"> • 目的別の建物のため、スペースにあそびがなく、交流・ゆとりが生まれにくい。 • 地域性と少子化が進む小中学校の統合をすべき。 | | <ul style="list-style-type: none"> • 中野中学校、中野小と統合する必要あり、湖に近いので地盤が弱いのでは。総合事務所は防災上ムリでは。 |

第2回「新しい施設の場所を考えよう！」

Cグループ

凡例
 青字：メリット
 赤字：デメリット

| | 現状敷地 | 駐車場 | 学 校 |
|-------------|--|---|--|
| 機能性 | | <ul style="list-style-type: none"> 新庁舎を現在の中央公民館と駐車場をつないで建てることを検討する。 | <ul style="list-style-type: none"> 総合事務所の建て替え予定時期にあってこない気が。(現状) 人口統計調査をして、小学生のこれからの人数を調べてもらい、結果縮小の可能性があれば総合事務所の一部として使用する。 |
| 利用しやすさ・やさしさ | <ul style="list-style-type: none"> 中野地区の中心であり交通の便が良い。 そもそもの場所なので、場所的な勝手は飲み込みやすいのではないかと。 どなたでも知っている場所。 バスから近くなので便利。 | <ul style="list-style-type: none"> 現状の給食車の入口だと、もしかしたら出入が不便になるか？ 駐車場として使っている場所。代替りの場所もそれなり以上の場所が必要。 駐車場の土地を残しつつ、2階より上に新しい公共施設を作る。 | |
| 防災・災害 | <ul style="list-style-type: none"> イエローゾーンにかかっているが総合事務所として建て替えられるのか。(立地条件) 土砂災害警戒区域になっているのは、心配。 土砂災害警戒区域であること。 市の土地に土砂の範囲が多くかぶさっている。 | <ul style="list-style-type: none"> 庁舎が土砂災害警戒区域から減らせるような。 | <ul style="list-style-type: none"> 全体を総合的に考えると、総合事務所・中野中学校・中野小学校の3つの施設のあり方をしっかり話し合う必要がある。中野中・中野小の統合(モデル校)としていけるかどうか。小中一貫校のモデルにできるような敷地等を考えるべきだ。 |

第2回市民検討会の意見のまとめ

現状敷地

駐車場

学校

メリット

- ・ 施設がまとまっていて使いやすい
- ・ 整備しやすい
- ・ ホールをリノベーションして有効利用できる
- ・ 交通が便利・バス停から近い
- ・ 駐車場と一体で使える
- ・ 場所がわかりやすい

- ・ すぐに移転できる
- ・ イエローゾーンから外れることができる
- ・ 国道からのアクセスが良い・バス停から近い
- ・ 総合事務所と一体で使える
- ・ 小学校と駐車場の一体活用・連携が図られる

- ・ イエローゾーンから外れることができる
- ・ 敷地が広いので色々なことに利用できる
- ・ 中学校は湖に近く景観が良い
- ・ 小学校と駐車場の一体活用・連携が図られる

デメリット

- ・ イエローゾーンから外れない
- ・ 旧道からの道が狭い
- ・ 景観があまり良くない
- ・ 建物が別々のままだと不便
- ・ 駐車場が狭い

- ・ 敷地が狭い
- ・ 旧道からの道が狭い
- ・ 景観があまり良くない
- ・ 給食搬入路の確保が必要
- ・ 駐車場の確保が必要

- ・ 小学校と中学校を集約・統合する必要がある
- ・ ※学校のあり方をしっかりと話し合う必要がある
- ・ 小学校は旧道からの道が狭い

一体的な敷地利用を考える

駐車場や交通アクセスを生かす

ソフト・ハード両面から災害対策を考える

児童・生徒数、学校配置等の状況等を踏まえ、教育委員会にて検討

中野小学校・中学校の状況について

● 現況（令和4年5月1日現在）

| | 児童・生徒数 | 学級数 | 築年数 |
|-------|--------|-----|-----|
| 中野小学校 | 411人 | 16 | 51年 |
| 中野中学校 | 308人 | 13 | 53年 |

● 将来人口推計に基づく児童・生徒数に係る推移の推計

| | 2022 | 2030 | 2040 | 2050 | 2060 |
|-------|------|------|------|------|------|
| 中野小学校 | 411人 | 346人 | 290人 | 225人 | 169人 |
| 中野中学校 | 308人 | 259人 | 217人 | 169人 | 127人 |

※上記の児童・生徒数は、2015国勢調査に基づく相模原市の将来人口推計（平成30年3月）の津久井地区の年少人口の減少率から推計

※学校は、適切に建物の改修（長寿命化）を行うことで、80年使用することを目標としている。中野小学校は築51年、中野中学校は築53年となっており、これまでも定期的に改修を実施しており、建替えの目安まで30年程度ある。

■ 児童・生徒数の推移の推計と今後の学校の在り方についての検討が必要であることを踏まえ、今回の再編の検討においては、中野小・中学校の統合は想定しない。

第3回以降の進め方

今後の市民検討会について

第1回

目標を共有しよう！

新しい施設で
「やってみたいこと」
「あったらいい場所・もの」
「気になること」から
新しい施設や周辺のイメージを共有

第2回

新しい施設の場所を考えよう！

新しい施設の場所の
「良いところ」
「悪いところ」
を、基本方針の5つの
視点で整理

第3回 (11/12)

新しい施設の導入機能を考えよう！

新しい施設の導入機能を深掘りする

第4回 (12/10)

新しい施設の導入機能をみんなで深めよう！

ワールドカフェ形式で、
3グループの案を深める
(グループ横断的に)

※ワールドカフェ

自由な発想をお互いに交換しあうことで、グループのアイデアが他のグループへ広がり、交わり、新たな発想が生まれること期待するもの

第5回 (2/18)

最終案を確認しよう！

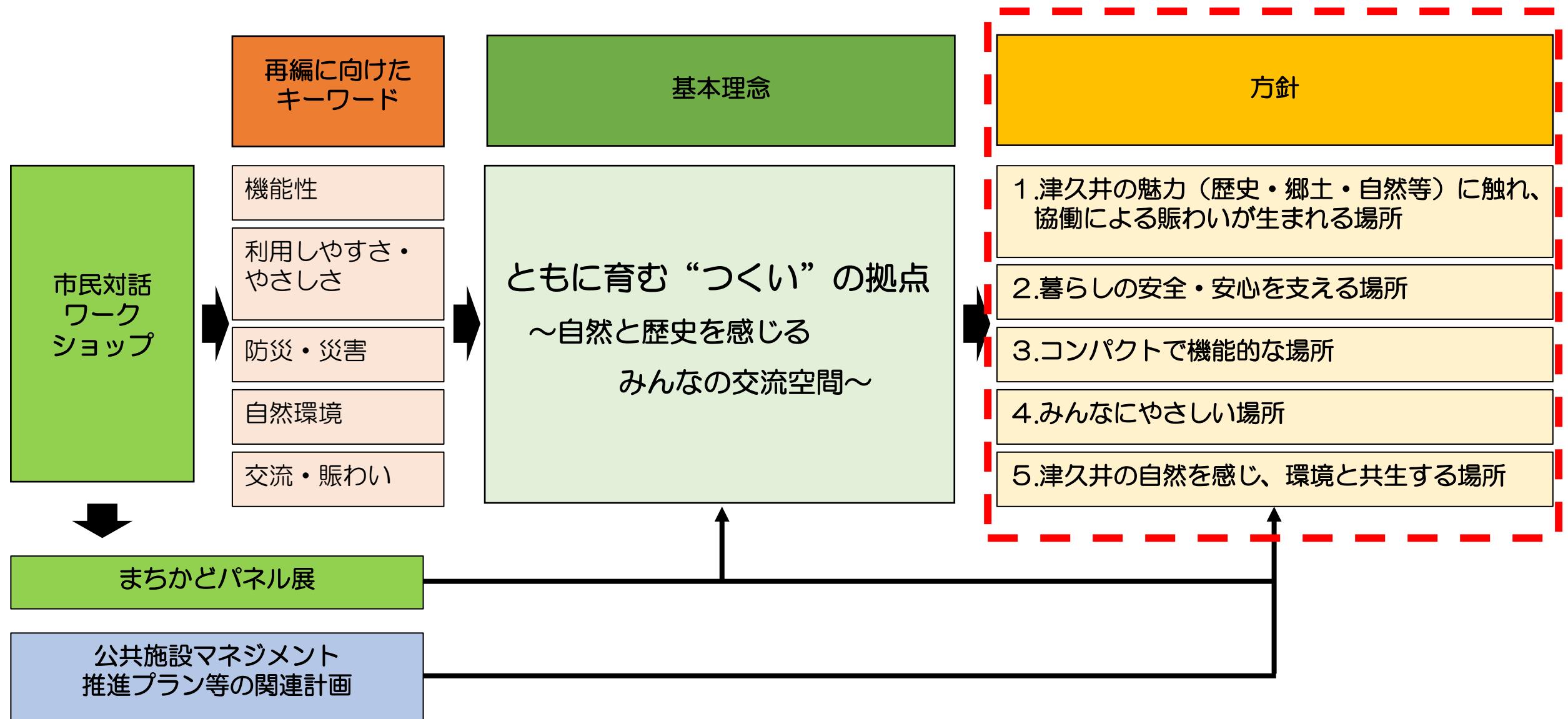
第4回までのアイデアをもとに、市が整理した複数案について、意見をもらう

第2回市民検討会での意見「小・中学校統合」「土砂災害警戒区域」の観点
⇒ どのような施設にするか(=整備パターン)を検討する中で考慮し、第3回・第4回市民検討会で考える施設の導入機能と合わせて、複数案に整理し、第5回市民検討会で提示し、意見をもらう

導入機能について

津久井総合事務所周辺公共施設再整備基本方針（R4. 8策定）

➤令和3年度に実施した市民対話ワークショップの成果や、令和4年2月～3月に実施したパネル展におけるアンケート結果等を踏まえ、津久井総合事務所周辺公共施設再整備事業の実現に向けた基本的な考え方として、基本理念と5つの方針をまとめました。



5つの方針（視点）

- 方針1 津久井の魅力（歴史・郷土・自然等）に触れ、協働による賑わいが生まれる場所
 - ・誰もが気軽に立ち寄ることができ、津久井の歴史・郷土・自然などに触れながら多様な世代や立場の人達が学び・交流する施設（公民館、老人福祉センター等の在り方の検討）
 - ・施設需要に対応した駐車場やイベント等に活用できるオープンスペース（ロビー、屋外空間等）の確保
 - ・住民・民間・行政における共創の場の創出（イベント・企画、飲食店等）
- 方針2 暮らしの安全・安心を支える場所
 - ・災害対策の拠点としての業務継続性の確保、災害時における必要物資の貯蓄や受入れができる、安全で災害に強い施設
 - ・子育て・福祉相談サービス・環境の充実（中野保育園、相模原西メディカルセンター急病診療所の在り方の検討）
- 方針3 コンパクトで機能的な場所
 - ・窓口のワンストップ化、ICT技術の活用による業務効率化、施設の複合化を通じた諸室の共有等によるコンパクトで利用しやすい施設
 - ・ニーズの多様化や将来需要の変化に柔軟に対応できるスペースの確保
- 方針4 みんなにやさしい場所
 - ・施設を訪れる誰もが利用しやすいユニバーサルデザインに対応した施設（利用しやすいトイレ、分かりやすいサイン、プライバシーに配慮した相談スペース、授乳スペース等）
 - ・業務効率の向上を図るための、職員が働きやすいオフィス設計
- 方針5 津久井の自然を感じ、環境と共生する場所
 - ・自然エネルギーの導入・再利用等を積極的に進めた、自然環境にやさしい施設
 - ・津久井産材の活用、津久井の持つ自然の魅力を感じられ周辺の景観と調和を図ったデザイン、色彩、配置計画

次回（第4回）市民検討会のお知らせ

開催日：令和4年12月10日（土）

時間：午後2時00分から午後4時30分まで

場所：津久井総合事務所3階 会議室1・2

第4回テーマ

新しい施設の機能をみんなで深めよう

※開催1週間前までに、開催通知を送付しますので、通知内容をご確認下さい。

<グループワーク>

～新しい施設の導入機能を考えよう！～

グループワーク ～新しい施設の導入機能を考えよう！～

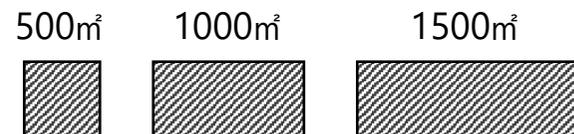
- ✓ 前回の検討内容をベースに、機能を配置して機能同士のつながりを考えましょう。
- ✓ 階数シールも使って、縦のつながりも考えましょう。
- ✓ 検討にあたっては、5つの基本方針やこれまでの検討も参考にしてください。



<機能カードの種類>

| | | |
|---------|----------|--------|
| 総合事務所 | ホール | 貸室 |
| 図書室 | 老人福祉センター | 保健センター |
| 急病診療所 | 駐車場 | 広場 |
| 子どもの遊び場 | カフェ | |

<機能カードの大きさ>



<階数シール>

①・②・屋

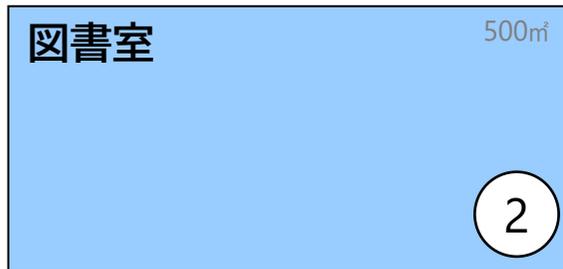
※②は2階以上に設置したい機能

機能カードの使い方

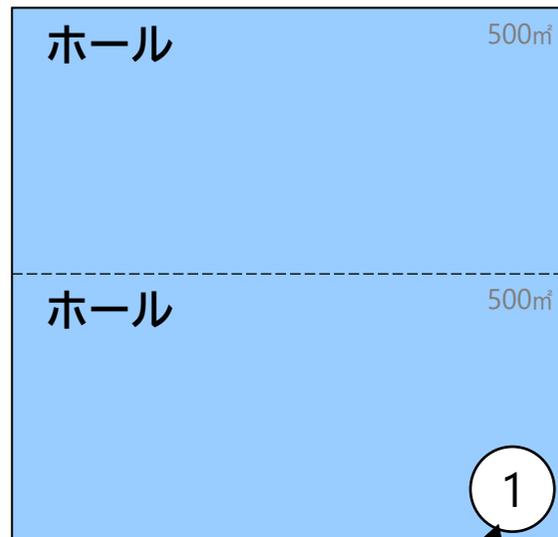
- ✓ 現状の施設や機能の大きさを参考にしながら、新しい施設の機能の大きさを考えましょう。（参考：P 4 現状の各施設の規模）
- ✓ 機能カードに無いものは、フリーカードを使いましょう。

<例>

500㎡以下



約1,000㎡程度



階数シール

1,500㎡以上



模造紙の使い方

- ✓ 機能カードを配置する中で、各施設に導入する具体的な内容や配慮すべきことを模造紙にまとめましょう。

<イメージ>

| | 各施設に導入する 具体的な内容 | 配慮すべきこと |
|--------------------|---|---|
| 津久井総合事務所 | <ul style="list-style-type: none"> ・コンシェルジュ ・くつろげるスペース | <ul style="list-style-type: none"> ・窓口を1階に置く ・バリアフリー ・防災 |
| 津久井中央公民館 | <ul style="list-style-type: none"> ・ホール ・貸室 ・図書室 | |
| 津久井老人福祉センター | | |
| 津久井保健センター | | |
| 相模原西メディカルセンター急病診療所 | | |
| 駐車場 | | |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・カフェ ・広場 ・遊び場 | <ul style="list-style-type: none"> ・キッチンカーを勧誘して軽食が取れるスペース |

(参考) 現状の各施設の規模

| 施設 | 区分等 | 面積 | 稼働率 (R1) | 対応する 機能カード |
|--------------------------|--------------------------|----------------|-------------|---------------|
| 津久井総合事務所 | 事務室 (うち、住民窓口) | 795㎡ (205㎡) | — | |
| | 会議室・相談室 6部屋 | 224㎡ | — | |
| | その他(倉庫、トイレ、廊下など) | 1,315㎡ | — | |
| | 計 | 2,334㎡ | — | |
| 津久井保健センター | 事務室 (うち、福祉窓口) | 159㎡ (127㎡) | — | |
| | 集団指導室、相談室、機能訓練室等 9部屋 | 280㎡ | — | |
| | その他(倉庫、トイレ、廊下等) | 502㎡ | — | |
| | 計 | 941㎡ | — | |
| 津久井中央公民館・ 津久井老人福祉センター | ホール(準備室、ホワイエ含む) 座席数:415人 | 764㎡ | 18.9% | |
| | 貸室(公民館) 7部屋 | 384㎡ | 35.8% | |
| | 図書室 | 101㎡ | — | |
| | 貸室(老人福祉センター) 3部屋 | 150㎡ | 59.7% | |
| | 相談室(老人福祉センター) 1部屋 | 48㎡ | — | |
| | その他(倉庫、トイレ、廊下等) | 1,110㎡ | — | |
| | 計 | 2,557㎡ | — | |
| 相模原西メディカル センター急病診療所 | 急病診療所(診察室、レントゲン室等) | 115㎡ | — | |
| | 会議室 3部屋 | 157㎡ | — | |
| | その他(倉庫、トイレ、廊下等) | 272㎡ | — | |
| | 計 | 544㎡ | — | |
| 駐車場 | 69台分 | 1,921㎡ | — | |

(参考) 再編に向けたアイデア・意見

| キーワード | 令和3年度のワークショップから出たアイデア・意見 | 令和4年度の第1回市民検討会から出たアイデア・意見 |
|-------------|---|---|
| 機能性 | <ul style="list-style-type: none"> ・世代間の交流ができる機能、行政の手続き等ができる機能を1つの施設にまとめる ・申請や各種届出がまとめてできる場所が欲しい ・利用者が少ない施設や機能を集約化する ・津久井総合事務所の中に、津久井保健センターや相模原西メディカルセンター急病診療所を入れる ・津久井地域包括支援センター（高齢者支援センター）の機能を集約・複合化する ・人口減が考えられるのでコンパクトにする ・デジタル化を進める ・今後数十年使用する施設のため、用途の変化に対応できる間取り等にする | <ul style="list-style-type: none"> ● 自由度の高いスペース（多用途・可変的） ● 中央公民館、保健センターも統合。 |
| 利用しやすさ・やさしさ | <ul style="list-style-type: none"> ・コンシェルジュの窓口を設ける ・分かりやすい案内やサインで誰もが利用しやすくする ・ベビーカーや車いすでも入りやすい明るい雰囲気にする ・個人利用ができるようにするなど、施設の予約方法を見直して利用しやすくする ・高齢者や小さな子どもにも優しい施設にする ・バリアフリーの建物にする ・赤ちゃんの親同士が、連携できるような施設を考える ・多様性を考える ・LGBTQの方が利用しやすいトイレを設置する ・職員の休憩スペースを設ける ・駐車場を広くする、駐車場（台数）を増やす ・子育てしやすいまちにする ・歩きやすい環境整備を行う・ベビーカーや車いすでも安全に通れる歩道整備を行う | <ul style="list-style-type: none"> ● 公共サービスを気軽に受けられる。（コンシェルジュ・タッチパネル・在宅相談できる等） ● 子育て中のママ達がくつろげる場所。 ● 行政の手続きだけでなく市民が安らげる場所。 |
| 防災・災害 | <ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害に強い施設にする ・防災を意識し、多機能な施設にする ・一部機能を土砂災害警戒区域外に建設する（分庁舎） ・災害時に使えるエネルギーを確保する ・避難所のトイレは広く車いすでも使用できるようにする | <ul style="list-style-type: none"> ● 災害時に住民が利用出来る。平時は公園、災害時は緊急避難できるような防災公園。 |
| 自然・環境 | <ul style="list-style-type: none"> ・自然との調和を考える ・自然（水と緑）を大切にする（津久井らしさ） ・省エネ仕様の建物にする ・太陽光発電を設置する ・津久井産の木材をうまく活用した建物にする ・水とみどりをイメージできる建物にする ・グリーンインフラなどエコに配慮した建物にする | <ul style="list-style-type: none"> ● 建物の中に水（川）が流れて周囲の人がほっこりできる、行ってみたい場所になるといい。 ● 津久井の良さを活かした建物。 |
| 交流・賑わい | <ul style="list-style-type: none"> ・世代交流の場、みんなが気軽に集まれる施設にする ・みんなの公共施設として、明るくオープンな施設にする ・「楽しめる」「共生」の視点をもった公民館、子どもの遊び場をつくる ・津久井中央公民館の図書室を広くして利用しやすくする ・民間と連携して、道の駅のような観光施設を作る ・キッチンカーなど、移動販売を行い、人が集まりやすいエリアにする ・カフェ、食事のできる場所を設ける ・広々と明るいゆっくりできるスペースをつくる ・歴史を知る ・自然・歴史を生かした施設にする | <ul style="list-style-type: none"> ● ふらっと来てボールで遊んだり、本を読んだり、友だちとおしゃべりしたり、他にも工作や料理、音楽などいろいろなことができるみんなの居場所。 ● 個人使用できる子どもセンター（町田のぽお）みたいな施設。 ● ドッグラン等ワンちゃんも一緒に遊べる場所があったらいいと思う。 ● 長いすべり台とか長く遊べる遊具があれば遊びに困らない。ブランコ。 ● レストラン、コンビニ、おしゃれなカフェ、肌触りが良い50cmぐらいの大きさのぬいぐるみ。 ● 散策コースや釣り情報など地域インフォメーションコーナーの充実。 |